

横浜市立上矢部小学校 令和3年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
大地に根をはり 共に伸びよう 天までとどけ	(知) 問題解決に向けて、主体的に粘り強く取り組む子 (徳) よりよい自分を目指し、自分や他者を大切にする子 (体) 心と体の健康に関心をもち、自ら進んで体力・健康づくりに取り組む子 (公) 集団や社会の一員としての自覚と責任をもち、人のために行動する子 (開) 新しいことに進んで関わり、夢や希望をもってチャレンジする子

(2) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標

- 学校教育目標を実現するために、「明日のよりよい自分」が思い描ける夢のもてる学校づくりをめざします。
- ・「分かる」「できる」楽しさを実感できる授業づくりを推進し、基礎学力と問題解決力の向上を図ります。
 - ・一人ひとりの子どもが豊かなかかわりの中で確かな自己有用感をもち、楽しく学校生活が送れるようにしていきます。
 - ・小中一貫教育推進ブロックや家庭・地域と連携し、社会の要請や信頼に応えた学校づくりを進めています。
 - ・教職員が相互に啓発・連携できる、自律と責任にあふれた学校運営組織が確立されていきます。

(3) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・取組目標・具体的取組

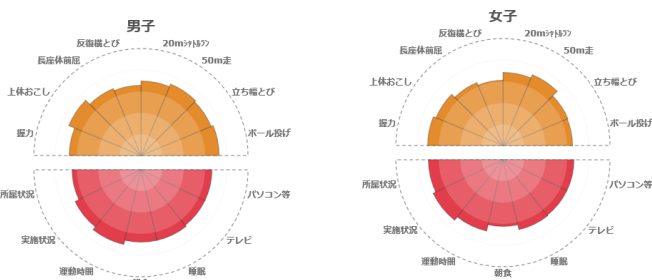
重点取組分野	具体的取組
健やかな体	・心の体の健康に関心をもち、自ら進んで体力・健康づくりに取り組もうとする子を育て、体力を向上させる。そのために、「オリパラを契機にする・みる・支える・知る等、いろいろな運動へのかかわり方楽しみ方があることに気付ける指導」「体育の授業での楽しく運動量を確保した指導」「運動する機会を増やす取組」を推進する。
担当	行事部・体育部

2 体育健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態

- ・ 休み時間の過ごし方を見ると、元気よく外遊びをする児童は多いが、室内で過ごしている児童も少なくない。
- ・ 給食の残量は、年々減少しているものの市平均よりまだ多く、米飯と牛乳の残りが特に目立つ。好き嫌いのある児童も多いが、声をかけると食べる量が増える児童もみられる。
- ・ 保健室の利用状況は、けがや病気が比較的多く、体調不良による来室者も多い。朝食を摂ってこないことで体調不良を訴え来室する児童も見られる。

(2) 体力の概要と要因の分析



新体力テストの結果から、市平均を下回った記録の項目も見られる。運動に自信がある子どもがいたり、運動が苦手な子どももいたりするので様々なところで運動を行う機会を作り、体力・運動能力の向上を目指していきたい。

3 体育・健康に関する具体的取組

教科

《体育科での取組》

健康な生活を実践する態度、自己の健康のために主体的に課題解決する力を育む

- ・子どもが運動の特性に触れた楽しさを実感し、仲間との対話による課題解決や学習資料の活用による主体的に取り組む体育科の授業の展開の工夫を目指す。

《保健での取組》

- ・生活リズムに重点をおき、運動・食事・睡眠が繋がっていることを理解させ、実践する。

《他教科での取組》

- ・家庭科では、食教育との関連を図り、毎日の食生活をふり返り、自身の成長や健康を意識することができるようにする。
- ・道徳では「正直、誠実」の重視による、「誠実に、明るく心で生活しようとする」態度の育成を目指した授業づくりを行う。

道徳・特活・総合

- ・スポーツ委員会が中心となり、「ぴよんぴよん大会」「スタスタ持久走大会」に向けた「ぴよんぴよんタイム」「スタスタタイム」の取組をはじめ、運動に親しむ機会を大切にし、運動する習慣が定着するようにする。
また、体力テスト前には、事前にどのようなテストがあるかを体験できる、「スポーツテスト体験会」を開く。やり方を理解して、正しく記録が測定できるようにしていきたい。
- ・運動会では、体育科で培った力をもとに、運動に取り組む楽しさや喜びを表現し、地域・保護者の方々との交流も充実させていく。
- ・保健委員会では、健康に関する意識向上をはかる取組を継続して行っていく。

課外活動

- ・運動クラブ活動の推進
- ・学校便り等を利用して体力テストの結果や保健情報等を家庭に周知し、課題等を共有していく。

令和3年度 上矢部小学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 「ぴよんぴよんタイム」「スタスタタイム」

《ねらい》 運動機会の確保、運動時間の確保、運動の習慣化

《内容》 ぴよんぴよん大会、スタスタ持久走大会に向けたぴよんぴよんタイム、スタスタタイムをスポーツ委員会児童が企画・運営し、内容と取組の充実を図り、運動の楽しさを味わわせ、体力の向上を図る。

●指 標： ① 行事後の振り返り 「事前取組」「満足度」

なわとびカード、マラソンカード等を活用して自分の取組を記録し、事後に自分の取組やめあての達成状況を自己評価し次年度につなげていけるようにする。

② 生活実態調査「運動やスポーツの実施状況」「1日の運動スポーツの実施時間」から検証する。